

(Gallery)

赤谷山 2260m

撮影日：2013-09-22～23

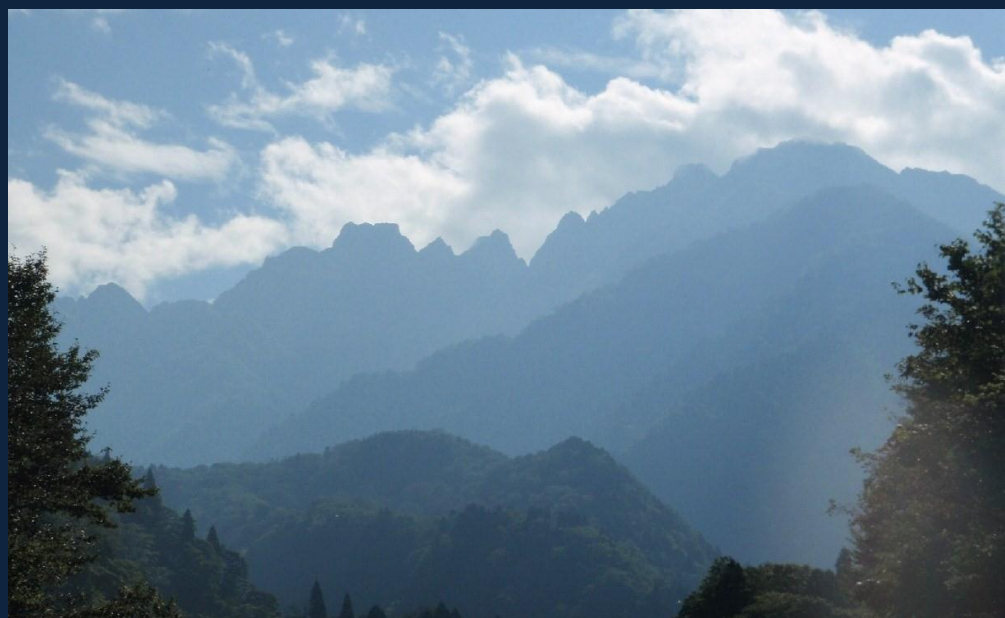
藤原 義弘

♪ 剣見るなら 赤谷（あかたん）尾根でよ～ 大窓小窓にね三ノ窓 ヨカネ～♪
…と 剣ダンチヨネ節に唄われている剣岳北方稜線の山、赤谷山山行のハイライト写真です。

前日、馬場島でテント泊



稜線を仰ぎながら登山口へ



登山口は取水口横



ブナクラ谷を遡る



清冽な水が流れる



何回かの渡渉がある



ブナクラ峠を仰ぐ 見えてからが遠い



自生のワサビ



岩陰に咲く 大文字草



ブナクラ峠直下の岩ゴロ帯



峠のお地藏さま



リンドウ



ムシカリの実



シラタマノキ



赤谷山への登り 急登が続く 猫又山（毛勝三山）を背に



アルプス三大急登よりきつい

赤谷山の一角に出る



小さな草原が広がる

山頂のお地藏さま



峠のお地藏さまとは表情が違う

劔岳北面

雲が流れ豪快な岩肌が展開する



目を反対にやれば 猫又山



草原の砂地でテント設営

なんとも贅沢なロケーション、独り占め



月とテントとお地藏さまと

テントの中では酒宴が？



黎明 五竜と鹿島槍 (カッコいいね)



シルエットの劔岳と北方稜線

谷から湧き上がった雲が流れる



コーヒーを飲みながらゆっくり山を眺める



朝日に輝くチングルマ



剣に朝日が射してきた もう雲は消えた



お地蔵さま ありがとう！



馬場島から標高差 1500m、地元の方は日帰りで往復する赤谷山。今回は頂上でゆっくり山と対峙したいと思いテント泊とした。頂上には水がないため通常のテント泊装備プラス水 2.5~3 Lが必要になる。体力的にかなりしんどかったが、きつい登りのあと頂上に出た瞬間、目の前に広がる剣岳と北方稜線の景観は素晴らしいものであった。それから頂上の小さな草原の一角でテント泊。一泊することで日帰りでは味わえない山の醍醐味（月、星、ご来光等々）を一杯味わえた印象に残る山行となった。かねてから念願の赤谷山テント泊がかなえられて大満足ですが、正直言って今まででもっともきつい山でした。

(完)